



社会福祉法人

広報

静岡いのちの電話 49号

子どもたちに自死を選ばせない！

静岡いのちの電話 事務局長 守屋 明

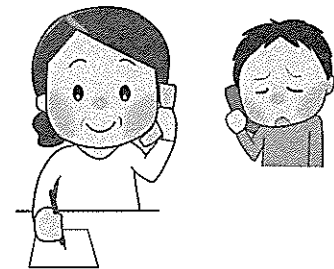
今年6月に事務局長に就任し、半年が経過しました。その間は、電話相談員を始め、先輩諸氏にはたくさんの方の事を教えていただき、あっという間でした。自死という重篤な現実に向かい、究極のボランティア活動をされている方々にはまさに頭の下がる思いです。

私自身は少し前まで、最近非常に増えている子どもたちへの虐待防止のための仕事をしていました。児童虐待には、身体的虐待、心理的虐待などいくつかのパターンがありますが、虐待を受けた子どもは、いずれも体や心に傷を負って施設や里親のもとに連れられてくるわけです。現在、静岡県では650人もの子どもが、家族から離れて生活しているのです。この子どもたちも原則18歳で施設を出ますが、寄る辺なくその後は行方不明になってしまう例も多くあります。

本来、子どもたちは親のもとであたたかい愛情でぐくまれ、成長するのが当たり前。この仕事の究極の目的はこの子どもたちを虐待のない家庭へ戻すことです。もっと言えば、子どもたちを家庭から引き離すことなく初めから虐待のない家庭環境を、つまり虐待予防を図ることが大切です。母親と面接を重ねるなかで、「自分の子だけど、どうしても邪魔になってしまうの。」と言っていた母親が、「笑顔を見るのが楽しくなりました。」と変わったときには本当にうれしく思いました。

ところで、最近若年層の自殺が増えています。令和2年には全国で912件増えた自殺者のうち、20歳未満の自殺者が777件と、前年に比べ118件も増えました。30歳未満では522件も増えました。理由は様々でしょうが、虐待やコロナ禍での生活不安もあるでしょう。

施設からも家庭からも離れ、18歳で立ち立した子どもたちは孤独です。生きるすべも相談相手もままなりません。職業差別や偏見に見舞われることも頻繁です。思いあまって自死を選ぶこともあると聞いています。私たちの「いのちの電話」は、この子どもたちを含めたすべての若年層にもその存在を大いに周知し、自殺予防の一助となるよう努めてまいりたいと思います。



聴かせてください ひとりで悩まずに

相談電話 054-272-4343 しみじみ
 相談時間 年中無休 12:00~21:00

24時間、隣にいます。 心の痛み、話せる電話です。
自殺予防 いのちの電話
0120-783-556
 毎月10日 8:00~翌日8:00
 (24時間・無料です)

いのちの電話
ナビダイヤル
0570-783-556
 年中無休 10:00~22:00

「全国大会（いのちの電話相談員全国研修会）に寄せて」

静岡いのちの電話 研修委員長

第36回いのちの電話相談員全国研修会岡山大会が、2019年10月24日から26日までの3日間開催されたのが、コロナ禍前の最後の大会となって2年が経ちます。これまでの36回の長い歴史の中で、全国各センターが交替でテーマを決め、講演会、分科会の準備をしてきました。担当したセンターのその後を見ると、結束力が前より強くなっているように感じ、全国大会開催がもたらす効果の一つだと思います。

毎回静岡いのちの電話からも相談員が参加しています。参加した仲間は、改めて「いのちの電話」に関わっている仲間が全国に大勢いることを認識し、彼ら・彼女らの力強さを感じ、深い知識を得ることで、自己理解を深めることに繋がっていると話していました。私も全く同感で、その後の私の電話相談に対する想いは、前よりもより深いものになりました。加えて、参加する意義を改めて強く感じるようにもなりました。

「かけよう心をつなぐ橋」のテーマで行われた岡山大会には、同期でもある友人と参加しました。彼女は退職を機に、これからの自分の時間をどの様に使うか考えていた時期であったと思います。彼女は一度も全国大会に参加したことがなかったので、私が参加するのであれば一緒に行きたいと声をかけられました。彼女はインターネット相談の分科会を受講していました。「いのちの電話」でも、これから力を入れていこうとしている分野でもありました。大会終了後、2人で倉敷・瀬戸内海の島などを訪れ、交友を深めました。次の年の元旦にも彼女は当番に入っていましたが、その後容体が急変し2月初めに帰らぬ人となりました。急な訃報に驚くと共に悲しく、これから「いのちの電話」の活動に深く取り組んでいこうとしていた彼女の気持ちを考えると、辛いものがありました。そのような友がいたことを胸におき、これからも行われていく相談員全国研修会に参加していこうと思いました。

相談員全国研修会は、このように参加する人にとって意義のある学びの場であり、全国の仲間との交流の場です。コロナ収束後に再開された折には、静岡いのちの電話の相談員の皆様も積極的に参加されることを期待しています。





講演会のご案内

～どなたでも参加いただけます～

入場
無料

「赤い羽根」新型コロナ対策いのちをつなぐ支援事業

「静岡いのちの電話」三島講演会

「優しさ、明るさ、強さ、
そして慈しみの心でいのちに向かい合う」



日時 2022年1月16日(日)
14:00～16:00

会場 三島市生涯学習センター
(三島市大宮町1-8-38)

講師 内藤 いづみ 先生

自殺予防講演会

(厚生労働省助成)



「良い眠りが
認知症を予防する」

～良い眠りが自殺予防にも欠かせない～

日時 2022年2月13日(日)
14:00～16:00

会場 静岡市葵区学習センター アイセル21
(静岡市葵区東草深3-18)

講師 精神科医 功 刀 弘 先生

※申込は、静岡いのちの電話事務局へ (電話 054-272-4344)

第23期静岡いのちの電話相談員養成講座について

例年12月から2月にかけて電話相談員養成講座の募集を行っていますが、新型コロナの影響で第22期の養成講座の日程が遅れていることから、第23期の養成講座を半年ほど延期することとなりました。

詳しいご案内は次号(2022年6月発行予定)でお知らせします。

私が電話相談員養成講座に応募した時のこと

私が、「いのちの電話」に関心を持ったのは20年前のことでした。私が40代の頃、母が亡くなり、自分も病気になり「死」というものと向き合いました。「死」を意識するとこのまま悠長に生きてはいけぬ。何か私にできることはないかと考え始めました。その頃、私は働いていましたが、子供も手がかからなくなり、自分のやりたいことに時間を使えるようになっていました。そんな時、新聞のタウン情報に以前の杉本事務局長さんの記事が載っていて「いのちの電話」に関わられているということで「いのちの電話」に関心を持ちました。それからは「いのちの電話」というものはどんなところなのか、テレビや本を見たり、どんな活動をしているのかを知るために「いのちの電話」主催のバザーや説明会に行ったりしました。研修費用もかかるし、1年半の長い研修を果たして自分がやりこなせるか時間をかけて考えましたが、とにかくやってみようと思いに到りました。

研修では、一緒にグループになった人達は皆さんが大変な経験をされていることを知りました。幼い頃は泣き虫だった私が、家族や仲間、コーラーの人たちからいろいろ教えてもらって生きています。この場所は私にとってかけがえのないものになっています。

(相談員 I.H)

青木広報委員長 お疲れさまでした

静岡いのちの電話発足間もなくから20年もの長きに亘って広報委員長を務め、この広報の発行に御尽力いただいた青木光枝さんが、この度委員長を退任されました。永い間本当にありがとうございました。

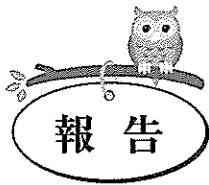
そして、青木さんから広報委員長を引き継ぎました。微力ながら、皆様のお力を頼りにより良い紙面づくりができればと思っています。よろしく願いいたします。(広報委員長)

編集後記

☆新型コロナウイルスの感染拡大で出掛けることも無くなった日々。誰もいない広い畑で一人農作業、触れる土と育つ野菜がいつも私の心を癒してくれます。私が安心して心から楽しめる大切なものの一つです。(相談員 T.S)

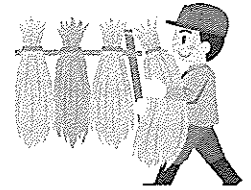
☆週末になると妻とフリーマーケットに行きます。妻の傍で袋をもってお供をするのが私の役目です。誰かには不要な物が、別の誰かには価値のある物になる、これもSDGsなのかなと思いつつお供に徹しています。(相談員 F.T)

発行
社会福祉法人 静岡いのちの電話事務局
☎ 420-8691
日本郵便静岡中央郵便局 私書箱 200 号
TEL: 054-272-4344
FAX: 054-255-1817
郵便振替口座番号 00880-0-33857
URL <http://www.shizuoka-inochi.jp>



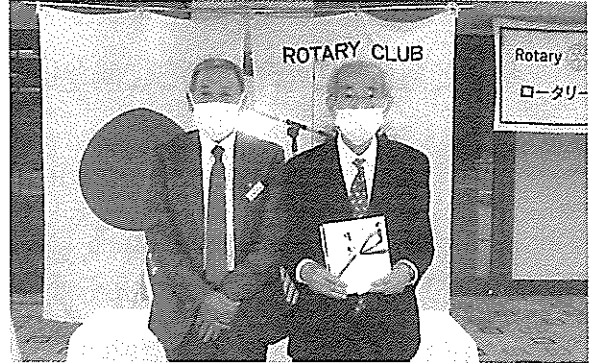
棚田の収穫報告

10月23日(土) 素晴らしい秋晴れに恵まれ、清沢塾の稲刈りが行われました。稲の実りも上出来で、静岡いのちの電話からは5人が参加しました。棚田2枚を刈り上げ、稲架^{はさ}にかけ、作業終了後には美味しい味噌汁を頂き、お腹も心も充実の一日でした。



静岡中央ロータリークラブ様から30万円の寄付

静岡中央ロータリークラブ様から、静岡いのちの電話の活動に賛同して30万円の寄付をいただきました。この寄付は、同クラブの創立35周年記念事業の一環として行われたもので、6月21日に中島屋グランドホテル(静岡市葵区)で開催された贈呈式で、長嶋明彦会長から中井理事長に目録が手渡されました。改めて、静岡中央ロータリークラブの皆様にご御礼申し上げます。



赤い羽根共同募金で新型印刷機を購入



私たちの活動には欠かせない研修。その研修に欠かせないのが各種研修資料などを印刷する印刷機です。このたび、「赤い羽根共同募金」の助成により、最新型の印刷機を導入することができました。新型になったことで、印刷時間やコストがかなり軽減されることになりました。

赤い羽根共同募金街頭キャンペーンに協力



10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施されました。日頃から赤い羽根共同募金にはいのちの電話の活動を支援していただいております。10月1日に静岡市内の青葉公園で行われた街頭キャンペーンに静岡いのちの電話から2名が参加し、市民に募金への協力を呼びかけました。

「いのちの電話カード」を中学生に配付

コロナ禍の中、弱年層の自殺が増加しています。静岡いのちの電話では、中学生が抱える悩みに少しでも寄り添えればとの思いから、赤い羽根課題解決プロジェクト募金を活用して「いのちの電話カード」を県内東部・中部地区199校の中学校の生徒と教職員に74,710枚を、夏休み前に配付しました。

ひとりて悩まない

いのちの電話
054(272)4343

名前は言わなくていいよ
通話料以外は無料です
秘密は固く守ります

社会福祉法人
静岡いのちの電話

社会福祉法人 **静岡いのちの電話**

- 相談電話 054-272-4343
毎日12:00~21:00
- ナビダイヤル 0570-783-556
毎日10:00~22:00
- フリーダイヤル 0120-783-556
毎月10日
8:00~翌朝8:00
- インターネット相談
日本いのちの電話連盟(下記URLから登録)
<https://www.inochinodenwa.org>